

富士と湖の 自然をみつめて

Nature in and around Mount Fuji



河口湖フィールドセンター周辺の自然 ～樹氷と雪と氷筍～

今年の1月は例年に比べ雪が少なかったですが、2月に入ったとたんに雪の日が多くなり、河口湖フィールドセンターの周りでは、多い時は60cm近く、少なくとも数cmの積雪が続いています。特に2月11日の夕方からは急に冷え込んだために樹氷がたくさんでき、翌12日には道の両側の木が重みで傾き、道をふさぐような状態にもなっていました。この時には、木の枝が氷におおわれると同時にツララが出来、その上に雪が積もるといった珍しい光景が、あちらこちらで見られました。コナラ・ソヨゴ・アカマツと木の種類によって違いもありましたが、特に、枯葉が残ったコナラの枝には、重さで傾きながらツララが出来たようで、爪のように曲がったツララが斜め上に伸びているように見える枝もありました。



14日には久しぶりにまぶしい太陽を見ることができ、朝はしばらく富士山も顔を出していました。この日は太陽の光で七色に輝く美しい樹氷が見られましたが、溶岩樹型内の氷筍(ひょうじゅん)は、この日までは大きな変化がありませんでした。しかし、19日に見に行きましたら、写真のようにツララがたくさん出来ていて、床には新たに小さな氷筍も増えていました。この日は、夏を主に亜高山帯で過ごしているウソというきれいな鳥(嘘でなく本当ですが)を目の前で見ることができ、雪の多い時期も捨てたもんじやないなと思えるようになりました。

偉大なる動物行動学者 日高敏隆先生を偲んで

日本を代表する動物行動学者である日高敏隆先生が、昨年11月14日に亡くなりました。東京農工大学と京都大学で教授をされた後、滋賀県立大学や総合地球環境学研究所を設立され、初代学長(所長)を務められるなど、第一線の学者であると同時に多くの門下生を育てられました。この偉大な業績を残された先生のお別れ会が、全国から800人以上が集まって、2月7日(日)に京都で開催されました。大阪府立大学の石井先生や九州大学の矢田先生、近畿大学の桜谷先生を始め、東京から来られた松井さん・里中さん・昆虫写真家の海野さんなどが参加されていました。



当時東京農工大学の教授だった先生の名著「チョウはなぜ飛ぶか」に魅せられてこの大学に入学した私は、1年生の4月に、大胆にも先生の研究室を訪ねました。気さくな先生は、誰に対しても親切に自分の考えをはっきりと話される方で、当時先生が研究されていたアゲハチョウの蝶道の話詳しく下さり、ローレンツ博士の「刺激と反応」理論まで解説して下さいました。当時未熟でローレンツ博士の「動物の行動を人間のココロから考える」本意が理解できず、また、「個」の違いを大切にしたいと考えていた私は、「刺激と反応」だけで説明することに違和感を覚え、その後はハクセキレイという鳥を顔で識別しながら4年間そのナワバリと群れを観察することになったのですが、約20年後に、日高先生が日本鱗翅(りんし)学会の会長を務められた6年間、私も評議員としてご一緒させていただく事が出来ました。これも何かのご縁と思っていましたが、今回のお別れ会も鱗翅学会で知り合った、日高先生の農工大・京大時代の弟子であり実行委員長の今福道夫先生からお招きをいただき参加することができたものです。



当日は幸運にも、私が学生時代に、日本生態学会誌等に発表されたアユのナワバリと群れに関する論文から大きな影響を受けた京都大学名誉教授の川那部浩哉先生にもお目にかかり、一緒に記念撮影することも出来ました。川那部先生は、当時から日本を代表する動物行動学者でしたが、日高先生を農工大から京都大学に呼ばれた方だったということも当日わかり、縁とは不思議なものだと思いました。

奥様は「日高はまだ生きています」とおっしゃられていると紹介がありましたが、奥様からのお礼の品は、先生の書かれた著書の文庫版にお礼の言葉が添えられたもので、運よく私は先生の遺作の文庫本を頂くことが出来ました。肩書きを気にせず、「プロとアマの違いは、それでお金をもらっているかどうかの違いだけだ」とおっしゃっていた先生の言葉を励みに、何か少しでも後世に残せたらと思っています。

ショート・ニュース

2月26日経団連会館で国際シンポジウム「自然に活かされる企業の未来」が開催されました。

3月14日(日)午後1時30分から、生涯学習推進の集いとして「富士山の自然と富士河口湖町～里山と環境教育～」と題したフォーラムが、中央公民館で開催される予定です。

3月17日(水)午後8時から9時30分、NHK BS-hiの新日本風土記「富士山」の中で、船津胎内樹型が紹介される予定です。

ご意見・ご質問は、TEL 0555- 72- 4331 (FAX 72- 4341) 河口湖フィールドセンターまで



The Kawaguchiko Stellar Theater. The March issue.
STELLAR THEATER NEWS

河口湖ステラシアター通信3月号



“天使の歌声”ウィーン少年合唱団

ウィーン少年合唱団が、2002年の公演以来、8年ぶりに河口湖ステラシアターにやってきます。「ウィーン少年合唱団」といえば、《天使の歌声》と評され、世界の中でも抜群の人気と実力を誇る少年合唱団。歌声で人々の心を癒す天使たちのステージ、どうぞお見逃しなく!!



平成22年5月16日(日)

開場)午後 2:15 開演)午後 3:00

会場)河口湖ステラシアター

料金)指定席4,500円 自由席(大人)3,000円

自由席(高校生以下)1,500円

未就学児の入場はご遠慮願います。

河口湖ステラシアターへ遊びに来ませんか??

河口湖ステラシアターは年間を通して営業中!!

春の足音が聞こえ始めた今日この頃。お出かけしたくなりませんか??河口湖ステラシアターは、公演日と休館日(火曜日・祝日の翌日)を除いた午前9時から午後5時まで、どなたでもご自由にお入りいただけます。

音楽といつも一緒に。
 そして、音楽をもっと身近に

ホールでは常に音楽が流れています。時にはオーケストラのダイナミックな演奏。時にはヴァイオリンの優しい奏で。時にはあまり耳にしたことのないチェンバロの音色など。どれに当たるかは、その日のお楽しみ!!

贅沢なひと時を・・・

天気の良い日、ステラシアターの前広場には特等席があります。そこにはテーブルやベンチがあり、自然を体いっぱい感じられる場所。たまにはお弁当を持って、外でランチもステキです。ロビー内のトイレも開放していますので、お子様が一緒でも安心です。

喧騒から離れて

ロビーでは、ステラシアターの歴史をご覧いただけます。壁に飾られた15年分のポスターは、時の流れを感じさせてくれるはず。そして、客席内にもお入りいただけます。コンサートの日とは違う静かな雰囲気と、すり鉢状の建物の中は、まさに別世界。



秦 基博 GREEN MIND 2010

秦 基博さんが河口湖ステラシアターにやってきます。
秦 基博さんといえば、昨年の武道館ライブのチケットは即完売し、多数の夏フェスにも出演した、今人気のシンガーソングライター。新緑の季節に、大自然に響く甘い歌声。お見逃しなく。

平成22年3月27日(土)午前10時より一斉発売

公演日)平成22年5月22日(土)
開場)午後 2:00 開演)午後 3:00
会場)河口湖ステラシアター
料金)全席指定 5 250円 (レジャーシート付)
5歳以上有料



教育委員会 文化振興局からのお知らせ

梶原林作基金について、平成2年度助成希望の申請受付を行います。

「梶原林作基金」とは、富士河口湖町地域づくりのために、町民の皆さん、または町に縁のある個人及び団体が行う地域づくり事業に対し、助成を行う制度です。対象となる事業は以下の通りです。

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの間に行われる事業が対象です。

地域の文化振興に資する事業

文化芸術の創作及び成果の発表等

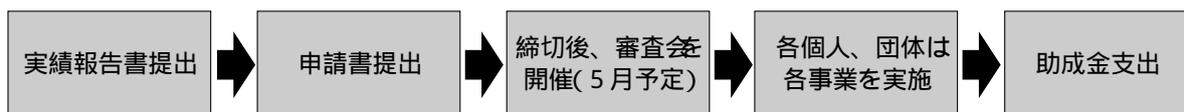
活力ある地域づくりのための事業

個性豊かで魅力ある地域づくりのための事業

受付期間

平成22年3月8日(月)から4月9日(金)まで

助成までの流れ



申請方法

指定の申請書に必要事項を記入し、町教育委員会文化振興局(河口湖ステラシアター内)まで直接お持ち下さい。(郵便、その他の方法では受付できませんので、ご了承下さい。)

申請書は町教育委員会文化振興局(河口湖ステラシアター内)にあります。ご希望の方はお問い合わせください。また、町役場ホームページからも、ダウンロードができます。

お知らせ

本年度の事業助成は今回で終了する予定ですが、助成状況により再度募集を行うことがございます。詳しくは、お問い合わせください。

お問合せ先

町教育委員会 文化振興局(河口湖ステラシアター内) 72-5577(火曜日休館)

自然の香りが響きわたる

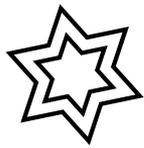
優しい音が湖風に舞う

河口湖ステラシアター & 河口湖円形ホール

<http://www.stellartheater.jp/>

このページについてのお問合せは、河口湖ステラシアター 72-5588までどうぞ





消費者ホットライン



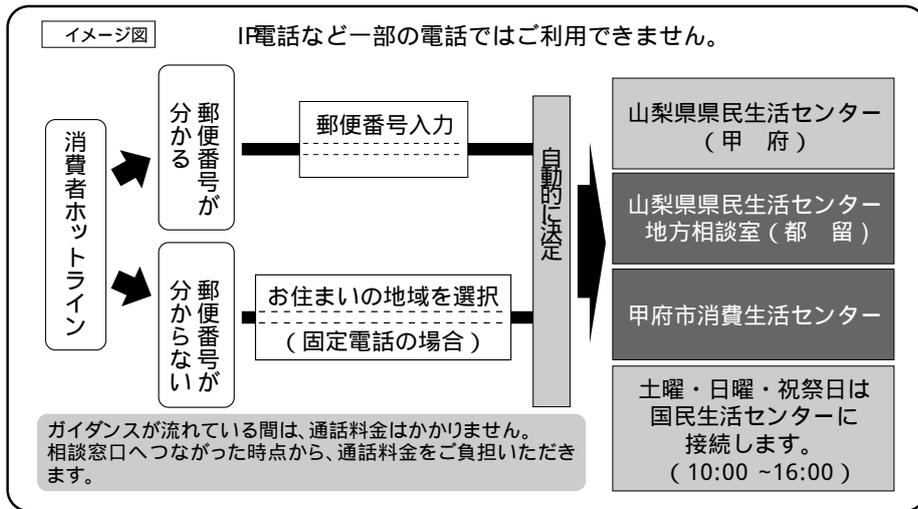
～平成22年1月12日から実施～

0570-064-370

ゼロ・ゴー・ナナ・ゼロ 守ろうよ、みんなを！

消費者ホットラインとは？

消費者ホットラインは、消費生活相談への最初の一步をお手伝いします。一人で悩まずに消費者ホットラインをご利用ください。



相談窓口で受け付けられない相談もあります

(受け付けられない相談の例)

- ・行政の対応に対する不満や要望(行政相談)
- ・職場での不当な解雇(労働問題)
- ・工場の汚水排出による環境事故(公害) など



生命・身体に重大な危害を受けた場合、またはその危害が切迫している場合などは、まずは、警察・消防にご連絡ください。

身近な相談窓口が相談受付時間外の場合や一部の相談窓口では、ガイダンスにより電話番号及び受付時間のご案内をいたします。

消費者ホットラインに関するお問い合わせ先

消費者庁消費者情報課地方協力室 03-3507-9174

消費者ホットライン

検索



渡邊 雪雄	松本イマ子	新井 昌幸	鳥居 俊伸	井出 一江	外川 君寿	梶原 求
96歳	92歳	57歳	53歳	60歳	77歳	73歳
渡邊 進	松本 武夫	新井美知子	鳥居 充功	井出 幹夫	外川 一明	梶原 浩
小立	小立	船津	船津	船津	船津	船津

おくやみ(死亡)

届出人

羽田 竜鳳	天野 一牙	小佐野 紋寧	山中 蒼悟	三浦 颯空	堀内 柊牙	渡邊 結乃	山中 キキ	白須 暖人	本山 桃	荒井 優香	平井 陽	千葉 真聖	宮下 奏
達 志	拓 哉	千 秋	章 嗣	正 人	慶 奈	剛 ち	涉 沙	明 徳	潤 祥	岳 香	淳 一	寛 弘	尚 士
純 舞	舞 子	直 子	円 子	日出 恵	奈 美	ち え	沙 矢子	香 織	祥 子	香 織	愛 美	弘 美	瑞 穂
大 嵐	勝 山	勝 山	勝 山	勝 山	大 石	河 口	小 立	小 立	船 津	船 津	船 津	船 津	船 津

おめでた(出生)

お子さん

父 母

【1月20日から2月16日まで】

おめでた・おくやみ

行政相談・心配ごと相談は 予約制です

相談者や効率的な相談のため、行政相談・心配ごと相談、
弁護士相談は予約制になりました。3月20日の相談の予約
は、3月17日(水)までに町役場企画課(72-6023)まで連
絡してください。相談時間は、1人20分間とします。

実施日	行政相談・心配ごと相談		弁護士相談
3月20日(土)	町中央公民館	午前10時～午後2時	町中央公民館
	勝山ふれあいセンター	午後 1時～ 4時	午前10時～12時
	足和田出張所	午後 1時～ 4時	勝山出張所
	上九一色出張所	午後 1時～ 4時	午後1時～3時

町の行政相談委員さんは、
白壁 勝雄 72-0143 小佐野成太郎 83-2320
梶原 一榮 82-2446 渡辺袈裟司 87-2316

= 県等の機関が行っている各種相談 =

県民生活センター
県民生活相談 TEL055-223-1366
消費生活相談 TEL055-235-8455
(テレホンサービス消費専用) 055-233-3399

富士・東部地域地方相談室
TEL0554-45-5038・7843
曜日・時間 月曜日～金曜日(祝日除く)
午前8時30分～午後5時

山梨行政評価事務所
TEL055-252-1496
曜日・時間 月曜日～金曜日(祝日除く)
午前8時30分～午後5時

無料弁護士相談
毎月4回開設(午後1時～3時30分)
相談は予約制で、1人当たり30分
県民生活センター相談室(山梨県J A会館5階)
TEL055-223-1366

借金問題でお悩みではありませんか!

町では、毎月20日に「多重債務相談窓口」を開設しております。自らの収入で返済しきれないほどの借金を
抱えお悩みの方々からの相談に応じ、専門の相談員が対応いたしますので是非ご利用ください。
相談上の秘密は固く守られます。

=3月の多重債務相談日= ○日 程 3月20日(土) 午後1時～3時 相談員 穂阪四郎
○相談場所 町中央公民館第二研修室 問合せ先 総合窓口課 72-1114

=他の機関が行っている相談窓口=

甲府財務事務所多重相談窓口 TEL055-253-2261 FAX055-253-3310
曜日・時間 月曜日～金曜日(祝日除く) 午前8時30分～12時、午後1時～4時30分
必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎを行います。

川辺先生の教育相談

新津小児科「親子の相談室」カウンセラー

個別相談 日時: 3月27日(土)
午後1時30分～4時30分

場所: 中央公民館
対象: 幼児から中学生までの子どもと保護者

* 相談希望者は予約が必要です。生涯学習課までご連絡ください。
* 相談内容、個人情報等は厳守いたします。

お問合せ・お申込み: 生涯学習課 72-6053



富士河口湖町教育センターより

お子さんに関する悩み相談を受付けます

相談員: 山口真澄 小林真弓

電話: 0555-83-3022

携帯電話: 090-4370-2615

E-mail: ed-center@docomo.ne.jp

ed-center@kawaguchiko.ne.jp

相談時間は調整することができます。お気軽にどうぞ。

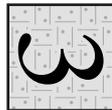


会場 中央公民館
日時 3月26日(金)
午前9時から午後4時
(12時から午後1時は昼休み)

国民年金・社会保険相談所
日時 4月28日(水)
午前9時30分から午後4時
場所 富士吉田市商工会
大月年金事務所
0554-223811

人のうごき
2月1日現在の
人口・世帯
人口 25,969人 (+31)
男 12,775人 (+23)
女 13,194人 (+8)
世帯 9,074世帯 (+26)

おしあわせに(結婚)
宮下 天野 渡邊 山田 山口賢一郎
泰明 拓哉 康 勉 佐藤 良子
" " " " " 鈴木 万貴
坂上あづさ 城之内 舞 智子 河津 船津
富士 勝山 勝山 河口
Happy Wedding
倉澤 渡邊 堀内 小川 梶原 渡邊
良蔵 軍榮 弘一 栄一 基正 國昭
71歳 71歳 68歳 79歳 81歳 79歳
倉澤 渡邊 堀内真太郎 小川 梶原 渡邊
一芳 五月 大石 守 孝政 勝昭 河口
勝山 勝山 大石 河口 河口



「広報富士河口湖」は資源保護とリサイクル促進のため再生紙を使用しております。

ホームページアドレス
Eメールアドレス
http://www.town.fujikawaguchiko.lg.jp/
kikaku@town.fujikawaguchiko.lg.jp

富士河口湖町

22年3月号(第7号)

観光まちづくりかわら版

富士山と湖と高原のまち—日本の湖水地方—

富士河口湖町の観光に関する興味深い情報やまちづくり情報などを紹介するかわら版です。

精進・本栖エリアではジビエ料理の開発に取り組んでいます

ジビエ(gibier)とはフランス語で「狩猟鳥獣肉」のことで、ヨーロッパでは不可欠な食文化として大切にされています。秋や冬になると、フランス料理店などではジビエ料理が「旬のメニュー」として人気があるそうです。

一方、富士河口湖町では野生のシカによる農作物などへの食害が目立つようになり、それに伴う被害の増加を食い止めるため、有害獣捕獲が積極的に行われるようになってきました。シカによる食害は、特に富士ヶ嶺地区の牧草地への被害が深刻で、広大な青木ヶ原樹海を集団で移動するシカに対して狩猟以外に対策はない状況でした。

このような背景のなか、旧上九一色村地区では、有害鳥獣として駆除されるシカを食肉として有効活用し、ジビエ料理を富士河口湖町の新たな特産品として提供し、地域の活性化を図りたいというアイデアが出てきました。

まず平成19年度には、精進地区と本栖地区の観光事業者たちが「創作郷土料理研究会」を立ち上げ、東京の江上料理学院の協力も得ながら、シカ肉を使った「鹿カレー」のレシピを開発しました。薄切りにしたシカの背ロースに赤ワインやカレー粉をまぶして両面を焼き、ルーと煮込み、7種類のスパイスを使った香り豊かなカレーです。平成20



鹿カレー

年からは両地区の食堂や旅館などで「鹿カレー」が提供され、観光客に好評を得ています。他にも「豆乳しゃぶしゃぶ」「竜田揚げ」「シカのたたき」「マリネ」など、鹿カレー以外のレシピ開発も進んでいます。

また、迅速な食肉加工処理が求められるジビエ料理を特産品化するためには、捕獲したシカを食肉に加工する施設が必要のため、町では平成21年3月に精進地区に「食肉加工施設」を整備しました。これによって、新鮮で美味しいジビエ料理を提供できるようになりました。

富士河口湖町の新たな名物料理である「鹿カレー」をぜひ一度お召し上がりください。

観光まちづくりカレッジが「富士河口湖町再発見ツアー」を行います

第4弾

“御師の里” 河口を歩く～知られざる富士信仰の謎に迫る～

御師の里・河口には、平安時代まで遡ることができるといわれる富士信仰道者の宿坊集落「御師の里」が奇跡的に残っています。最盛期には120軒以上あったという御師宿坊の伝統文化は、一見すると人々に忘れられ、消滅したかのように見えます。しかし、車を降りて、立ち止まり、ゆっくりまちを散策してみてください。古い箆笥の引出しの奥を見るように、忘れられた文化がここかしこに見られたり、感じられたりします。ここには往古の御師文化や郷愁を誘う昭和の遊びや伝承、古来より伝わる「稚児の舞」や古代信仰を彷彿とさせる「道祖神」などの祭りがしっかりと残っています。日本人が決して忘れてはならないものがここにあります。

今回のツアーは、御師の里河口を歩きながら、知られざる富士信仰の謎に迫るツアーです。

開催日 平成22年3月28日(日) **時間** 午前9時00分～午後3時30分(昼食:各自持参) **定員** 先着15名

集合・受付 午前9時 河口湖美術館大駐車場(美術館向かい) **参加料** 無料

プログラム (1)富士信仰の道を巡る (2)旧鎌倉往還(御坂路)を巡る
(3)茶話会(コーヒー・サービス)

参加申込み方法 3月24日(水)までに、電話、FAX、電子メールのいずれかの方法で、お名前、連絡先、参加人数を観光課 観光振興支援室(担当:久保)までご連絡ください。
(当日の詳細に関する案内は申込者に別途ご送付します)

お問合せ 観光課 観光振興支援室 72-3168 FAX72-2817/ 電子メール:kanshin@town.fujikawaguchiko.lg.jp



浅間神社